

(第6条関係)

## 事業計画書

事業名	ベストショットプロジェクト 事業
団体名	NPO 法人 United Project

1. どのような地域課題を解決したいのか、その現状や背景などについても含めて記載してください。

### 【課題】

- ・ 岩手県における被災者支援が継続できるボランティア・マッチングの体制作り、松戸市民の防災に対する意識の向上は、NPO 法人 United Project として解決したい地域課題の一つだと考えます。そのためには、当団体の活動内容の積極的な宣伝、若い世代にも向けて Web サイト・チラシやワークショップ内容の充実化が必要不可欠です。

### 【背景】

- ・ NPO 法人 United Project は、東日本大震災発生直後から 2 年半に亘って岩手県宮古市・大船渡市における被災者の支援を継続してきた松戸市の団体です。有志の若者で設立後、現地の必要性に合わせて、物資の配布だけではなくボランティア人材の派遣を定期的を実施しており、現在ボランティアと派遣先との日程や活動内容のマッチングは、当団体の松戸市事務局が担当しています。
- ・ 当団体は NPO 認定取得前から、東日本大震災で被災を受けた松戸市民、国内ボランティアに加えて海外からも 300 人以上のボランティアを派遣し、仮設住宅への訪問等を通じて被災者の不安に耳を傾け、心理的・物理的なサポートを継続してきました。
- ・ しかし、東日本大震災発生から 2 年半が経った今でも、多くの被災者が仮設住宅で生活を送っており、将来の生活に不安な状況が続いているのにも関わらず、仮設住民の不安に対してサポートができる支援団体、ボランティア数（特に若い世代のボランティア数）は減少傾向にあり、被災者支援活動への参加を希望のボランティアが居たとしても被災地での支援活動を計画できる団体が限られています。

2. 事業を行うことでどのようなことを達成したいのか、どのような成果があるのか、成果目標を記載して下さい。(事業を実施した場合に得られる成果目標は、数値を用いて簡潔に記載して下さい。)

### 【期待される成果】

- ・ 被災者支援の経験を通して被災地の現状を把握し、年 4 回のワークショップにより 200 人以上の松戸市民に情報共有すること、それに伴って松戸市における防災活動に対して

意識を高めること。

- ・ 現行 WEB サイト上でのボランティア申込手順の簡略化、デザインの見直し、スマートフォンで閲覧できるモバイルサイトの併設により、若い世代にも情報伝達を実施し、WEB サイトのアクセス件数、問合せ件数の増加に応じて被災地へのボランティア派遣数の増加 (2013 年度 50 名見込み→2014 年度 80 名)、継続的なボランティア派遣を実施すること。

3. 事業内容を具体的に記載して下さい。

【プロジェクト内容】

- ・ ワークショップを年 4 回実施 (定員 50 名 新松戸事務所にて)
  - 被災地でのボランティア活動の案
  - 東日本大震災発生後からの支援活動に関するスライドショーやビデオの上映による振り返り
  - 被災者支援に携わったボランティアの経験談の共有
  - 災害発生時の対処法、松戸市内の避難所、日頃に行える事前準備等に関する防災の説明
  - 参加者独自の避難所・避難経路マップの作成、そのマップを次年度の参加者・松戸市民への無料配布
- ・ ボランティアの支援活動でとっておきの写真 1 枚を WEB サイトにアップロードし、一般市民に閲覧可能な展示会を開催 (新松戸事務局・市内の公共施設)

4. 想定されるスケジュール (事業内容について、具体的な取り組みを下記のとおり記載してください)

【想定されるスケジュール】

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
2014 年 4 月	スタッフ MTG チラシ印刷	新松戸事務所
5 月	WEB サイトリニューアル チラシ配布	申込み簡略化・モバイルサイト併設 松戸市内でチラシ配布
6 月	①ボランティア説明会実施 ◆ボランティア募集・派遣	新松戸事務所
7 月	②ボランティア説明会実施 ◆ボランティア募集・派遣	新松戸事務所

8月	◆ボランティア募集・派遣	
9月	◆ボランティア募集・派遣 中間スタッフミーティング WEB サイト上で写真掲載	
10月	チラシ配布 ◆ボランティア募集・派遣	松戸市内でチラシ配布
11月	③ボランティア説明会実施 ◆ボランティア募集・派遣	新松戸事務所
12月	④ボランティア説明会実施 ◆ボランティア募集・派遣	新松戸事務所
1月	◆ボランティア募集・派遣	
2月	◆ボランティア募集・派遣 WEB サイト上で写真掲載	
3月	被災地からの写真展示	松戸市内

5. 助成金終了後、どのような活動に取り組むのかを記載してください。

- ・ 被災者が仮設住宅から永住地への帰任までは、ボランティアの派遣等により、岩手県を中心とした被災者の支援を継続し、東日本大震災による災害を忘れないため、被災地の現状を正確に伝え続けます。
- ・ また東日本大震災から学ぶべき防災対策、日頃のできる事前準備について、ワークショップの開催を企画し続けます。
- ・ 松戸市内の行政機関と連携して、想定される災害への対処や計画停電に備えるための準備方法を市民と一緒に考え、防災強化、震災に強い街作りを目指していきます。

以上

(第6条関係)

## 事業の予算概要

【収 入】

(単位：円)

科 目		金 額	積算内訳
団 体	団体拠出金	¥ 31,900	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 31,900	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	
	団体より拠出金(対象外経費分) (a③)		対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 31,900	
	市 市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A + B)		¥ 131,900	

【支 出】

科 目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	印刷製本代	¥ 72,000	チラシ印刷費¥3×1000部×4回 写真集印刷代 ¥500×120部
	委託料	¥ 50,000	WEBサイトのリニューアル 外部委託費
	消耗品費	¥ 7,900	説明会軽食費¥1,000×4回 プリンターインク購入費 (BK/CL) ¥3200ラミレートフィルム ¥700
	使用料及び賃借料	¥ 2,000	写真展会場使用料
	対象経費の合計 (D)	¥ 131,900	
	その他経費		
	その他経費の合計 (E) = (a③)	¥ 0	
合計額 (F) = (D + E)		¥ 131,900	

### 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) - 事業費収入額 (a②) - 市民活動助成金 (B)」と同額となること。
- 4 助成金 (B) が、1事業あたり10万円以内であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。